

氏名	高村夏輝	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	哲学・倫理学				
学位	博士（学術）				
学歴	東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了				
経歴	松蔭大学経営文化学部講師を経て現職				
所属学会（役職）	日本科学哲学会、科学基礎論学会、応用哲学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名		
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名		
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月		
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月		
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費 補助金（基盤研究C）	ラッセル的一元論による現象的意 識の解明		研究代表者	2021～2025年度		
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	倫理学	○	30	道徳的に生きるべき理由などのメタ倫理学と、功利主義、義務論、徳倫理という規範倫理学の主要な話題について紹介・批判的検討を行った。また現実的な話題として、動物倫理を取り上げた。2年次以降に開講されている「生命倫理の諸問題」との接続を意識して話題・論点を選択した。			
2	生命倫理の諸問題	○	32	インフォームド・コンセント、出生前診断、脳死・臓器移植、安楽死などの生命・医療倫理の話題について、歴史的経緯を重視した講義を行った。			
3	哲学	○	15	心身問題をテーマとして、心身二元論、心脳同一説、機能主義などの立場を紹介した。また汎用人工知能など、現在話題になっている技術的可能性も検討することで、理論的問題を社会の現実的問題と接合した。			
4	ヒューマンケア論		2	倫理学における「ケア」の概念の重要性を示すために、功利主義と義務論における一般的な原理・原則・規則の使用とその限界を強調し、「ケア」概念が捉える個人的関係が倫理的決定に果たす役割を論じた。			

5	人間の探求	8	全8回の内、1回は授業テーマの提題者となった。テーマは「人生の意味の問い合わせ」であり、その問い合わせに答えることがなぜ難しいのかを解説した。学生を3人ずつのグループに分け、ホワイトボードでテーマについて考えてもらい、そのうちのいくつかの意見を踏まえて講義を進めた。残りの回のうち、1回は他分野の教員とのディスカッションをおこない、その他の回では、他の先生の授業に疑問を投げかける訳、4人の教員によるディスカッションなどの形で参加した。
---	-------	---	--

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	教養ゼミナール	○	8	大森莊蔵の著作『流れとよどみ』を題材として、主に心身問題に関わる話題を取り上げた。学生にはあらかじめ資料を読み、疑問点を提出してもらった。そのうえで10名の学生を2グループに分け、グループで資料に対する疑問点、批判的議論を出すよう求めた。そしてそれに対して著者がどのように答える可能性があるかを講義することによって、心身問題の奥行きを学生がとらえらるよう工夫した。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		8	2チームを担当し、グループディスカッションの進行管理を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導 名	副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	和光大学非常勤講師	2023.04～2024.03	前期に哲学史A、後期に哲学史Bを一コマづつ担当した。
2	明治大学非常勤講師	2023.04～2024.03	前期に科学哲学A、後期に科学哲学Bを一コマづつ担当した。
3	東京大学非常勤講師	2023.10～2024.03	後期に現代哲学を一コマ担当した。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	令和6年度司法試験予備試験考查委員	委員	2023.11～2024.10

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	図書新聞	片岡大右著『批評と生きること』の書評を執筆した。	2024.01

(4) その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	博論社	博士論文の出版事業に関してアドバイスを行った	2023.4～2024.3

5. 学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会	2023.4～2024.3
2	学科等における委員会等	教養科目担当者会会長	2023.4～2024.3
3	大学広報活動	オープンキャンパスへの参加	2023.8

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7. 特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8. 特記事項

1	該当なし
---	------